

### ①腹痛・腹部の異常

腹痛の訴えに関して、何故産婦人科だと思ったかの問いに対しては、相談者から「子宮が痛い」「生理痛のような痛み」「性交後の痛み」「婦人科の既往がある」「妊娠中の腹痛」等さまざまな回答があった。

### ②性器出血

性器出血の訴えに関しては、月経なのか不正出血なのか、流産もしくは早産によるものかの判定が重要になってくる。特に妊娠反応が陽性で、未受診の妊婦に関しては、最終月経が本当に月経であるか不正出血かによって妊娠週数が全く変わってくる。オペレーターの情報の収集能力が選定に関わってくるため、慎重な対応が必要である。

### ③妊娠中の発熱

妊娠中の発熱に関しては、かかりつけ医への対応を勧奨している。また、夜間救急対応を要する場合は、夜間急病センター内科の受診を勧奨した。インフルエンザの流行時期には、インフルエンザに関する問い合わせもあった。産婦人科で対応するか内科での対応かは、かかりつけ医の判断に委ねている。

### ④薬の服用

薬の服用に関しては、妊娠中・授乳中または、薬を服用後妊娠が判明した等の相談である。薬の服用に関しては、オペレーターの判断で内服してよいか判断しないようにしており、必ずかかりつけ医への確認を勧奨している。

### ⑤生理痛・生理時の異常

生理痛による相談も多く、中には生理痛で救急車を呼ぶケースも多い。

夜間の生理痛の対応は、生命救急に関わる可能性がなければ、夜間急病センターに鎮痛対応をしてもらえるように調整している。

### ⑥避妊対応

避妊対応に関しては、避妊に失敗した為、アフターピルを処方して欲しいという問い合わせが主である。問い合わせには風俗関係者からの問い合わせもあった。避妊対応に関しては、100%の効果ではないが、72時間以内のアフターピルの内服を基本として、夜間の救急対応とはせず、本人から日中の時間に受診は不可能との訴えがあっても、診療時間内での受診を勧奨している。

#### ⑦外陰部の痛み・痒み・腫れ

外陰部の痛みに関しては、バルトリン腺膿胞・外傷・異物挿入・外陰部ヘルペスによるものが多い。痒みはカンジダ性膣炎、腫れはバルトリン腺膿胞・打撲による相談が主である。痒み・痛みに関しては緊急性が無いと判断された場合、翌日受診を勧奨している。相談者の訴えでかなり辛そうなもの、腫れ・痛みに関して血腫になる可能性があるものは当番の産婦人科医に相談し指示をいただいている。

#### ⑧強姦

強姦に対する相談は、警察への通報を勧奨している。警察からの要請があった場合、二次医療機関へコーディネートしている。内容は強姦の他、児童への性的虐待のケースもある。22年度は、警察とも相談し、110番で心のケアも紹介していること、女性警官も対応できるように待機していること等の情報も頂いている。しかし、21年度の17件から、22年度は32件の性犯罪は、約2倍となっている状況である。オペレーターも性犯罪が減少するためにも、警察との連携の重要性を感じている。

#### ⑨乳幼児の疾患・異常

乳幼児の疾患・異常は、「おっぱいを飲まない」・「泣きやまない」・「熱がある」等の相談がある。北海道小児救急相談（#8000）はあるが、月曜日～土曜日 19時～23時の対応であるため、その対応時間外に困った時や産後の対応で助産師に相談したい場合に連絡が入ることも多い。基本的にはかかりつけの病院に相談を勧奨しているが、夜間急病センターに小児科があるため、夜間の受診に関しては、夜間急病センターを勧奨している。

#### ⑩避妊具・生理用品等の使用法

避妊具・生理用品の使用法に関しては、「タンポンが抜けなくなった」等の相談が主である。タンポンが抜けなくなった場合、翌日受診を勧奨しているが、感染症・敗血症の可能性もある為、発熱・帯下の異常等も確認し、異常の判断がある場合は、医師と相談し対応している。

(11) 相談後の対応

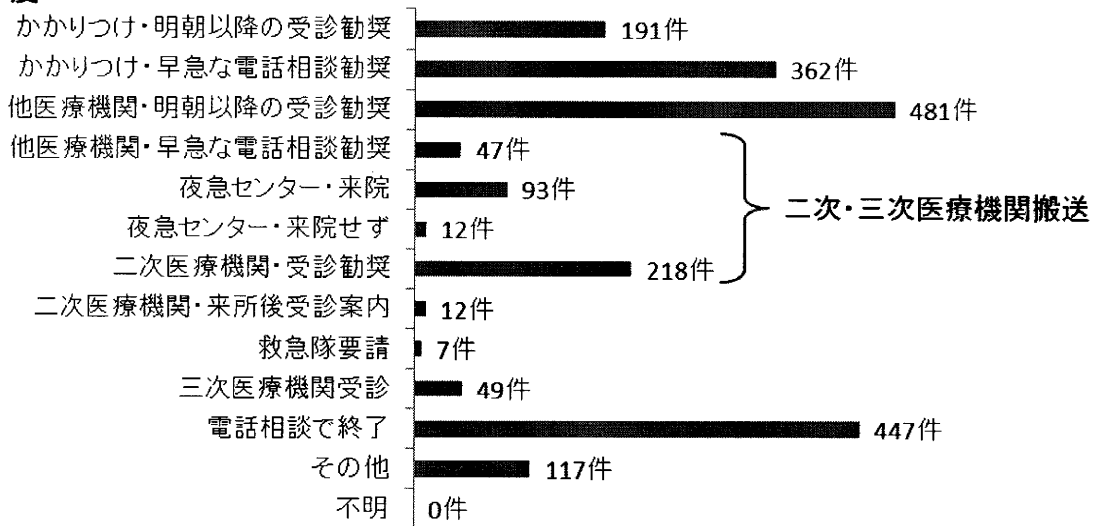
かかりつけ医があり、かかりつけの病院に連絡・かかりつけ医に受診を勧奨・翌日の受診で問題がないと判断した・電話相談で終了は全体の72%と半数以上となっている。

緊急性があり、二次・三次医療機関に搬送した相談者は191件約10%である。その内訳として、二次医療機関への搬送は154件7%であり、三次医療機関への搬送は、32件2%オペレーターが救急車の手配を行い搬送されたが5件0.2%である。

この産婦人科電話相談事業により、相談者の緊急性を判断し、二次・三次救急への適切なコーディネートが行われた結果、夜間における不要不急の産婦人科の受診を抑制される結果となった。(図12)

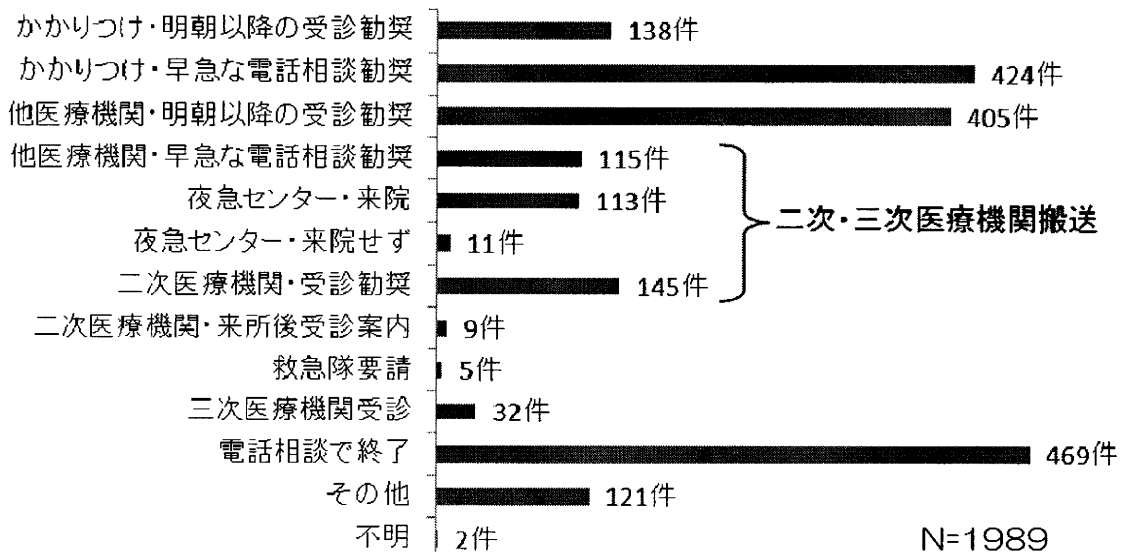
図12 相談後の対応

21年度



N=2036

22年度



N=1989

## (12) 主な対応事例

### 【事例 1：かかりつけ医療機関の対応】

かかりつけ医療機関から、相談電話を利用するよう紹介された妊婦の事例である。クリニック等、夜間診療をしていない医療機関が、留守番電話にこの電話相談に連絡するようにアナウンスを入れたり、医師が夜間に何かあったら産婦人科相談電話に連絡するように伝える医療機関がある。産婦人科救急相談電話は医療機関ではなく、患者の診療情報がないため、基本的にはかかりつけ医の対応を勧奨している。しかし、夜間の急変時に責任を持たないかかりつけ医、また、診療して手術になったら困るから診ないなど、モラルに欠けた対応もあり、今後の課題となっている。

また、札幌市外の市となるが、産婦人科がある総合病院があるにもかかわらず、夜間緊急性があっても受診を拒否する病院もある。夜間緊急性があっても、市民は受診出来る産婦人科がないという課題に対して、各自治体でも 1 次救急の対応は出来る体制を整えてなければならないと認識を持っていただきたいと感じている。

### 【事例 2：自宅における出産】

自宅で出産した 40 歳の未受診妊婦から相談電話があった。赤ちゃんの胎盤は娩出済みで、臍帯と切断し結紮している。娩出時に啼泣はあった。

対応として児は小さめであり、低血糖等の可能性もあるので早めの受診が必要なこと、また、母体も出血などの異常がないか診察が必要であることを説明し、拠点病院に受け入れ確認をし、救急車の要請を行った。

病院搬送後、赤ちゃんは低体温で入院となった。

中には、妊娠高血圧症候群により、子癇発作を起こしている妊婦の緊急搬送の事例もあり、定期健診の重要性を広めていくことも課題であろうと考える。

### 【事例 3：旅行者の相談】

性器出血が止まらず流れており、腹痛は下腹部が重い感じがあるという相談事例。子宮摘出の手術を 23 年前に受けている。ホテルに宿泊していたが、出血が多かったため、夜間に近くの病院へ飛び込みで来院したが、受診歴がないため対応してもらえず、産婦人科救急相談電話を紹介された。

出血量が多く緊急の可能性もあり、拠点病院に受け入れ要請の対応中に、相談者がどまっていた病院で早急な対応が必要と判断され、飛び込み先の病院で受け入れてもらえる事となった。

(13) 札幌市夜間急病センターとの対応

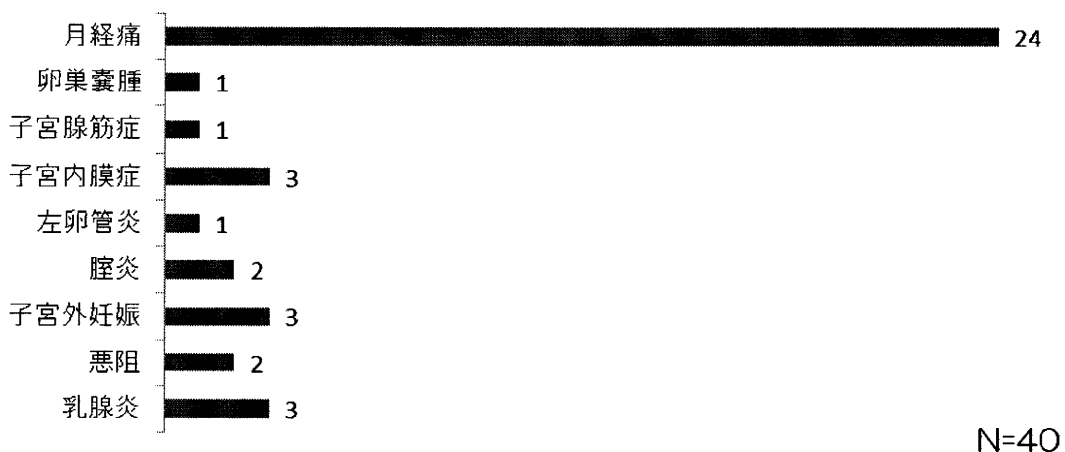
夜間急病センターへの搬送件数は124件あり、そのうち来院しなかったものは11件、で来院したのが113件、来院した事例のうち産婦人科に関する対応件数は40件である。内訳は図13に示したとおり、生理痛が24件と多い。夜間急病センターへは、鎮痛対応やつわりの脱水症状の改善等の応急的な対応を依頼している。

図13 札幌市夜間急病センター対応産婦人科疾患

21年度



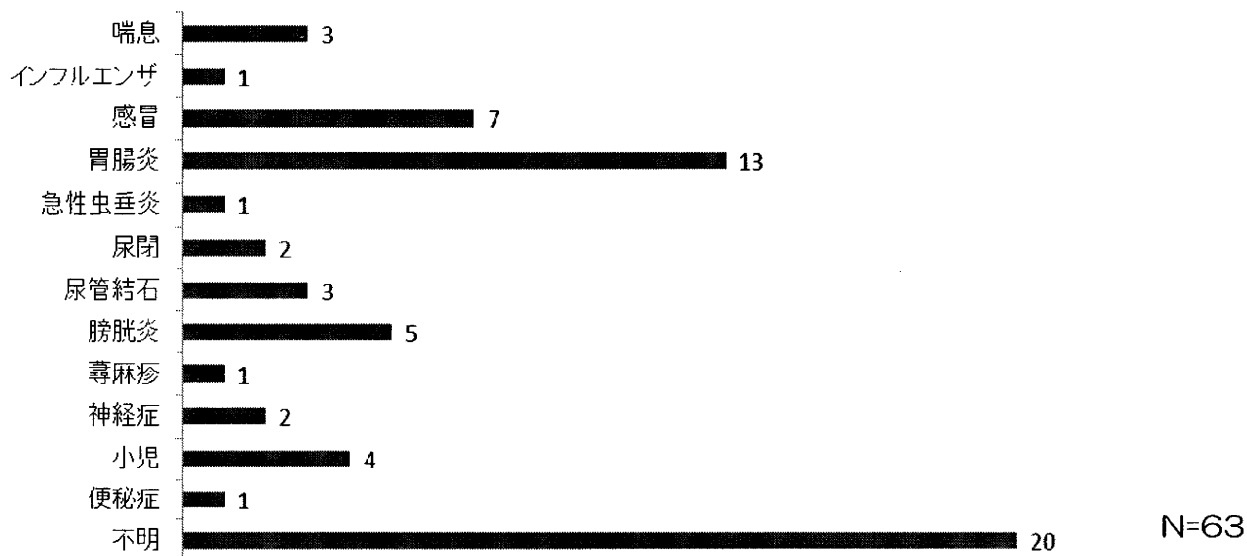
22年度



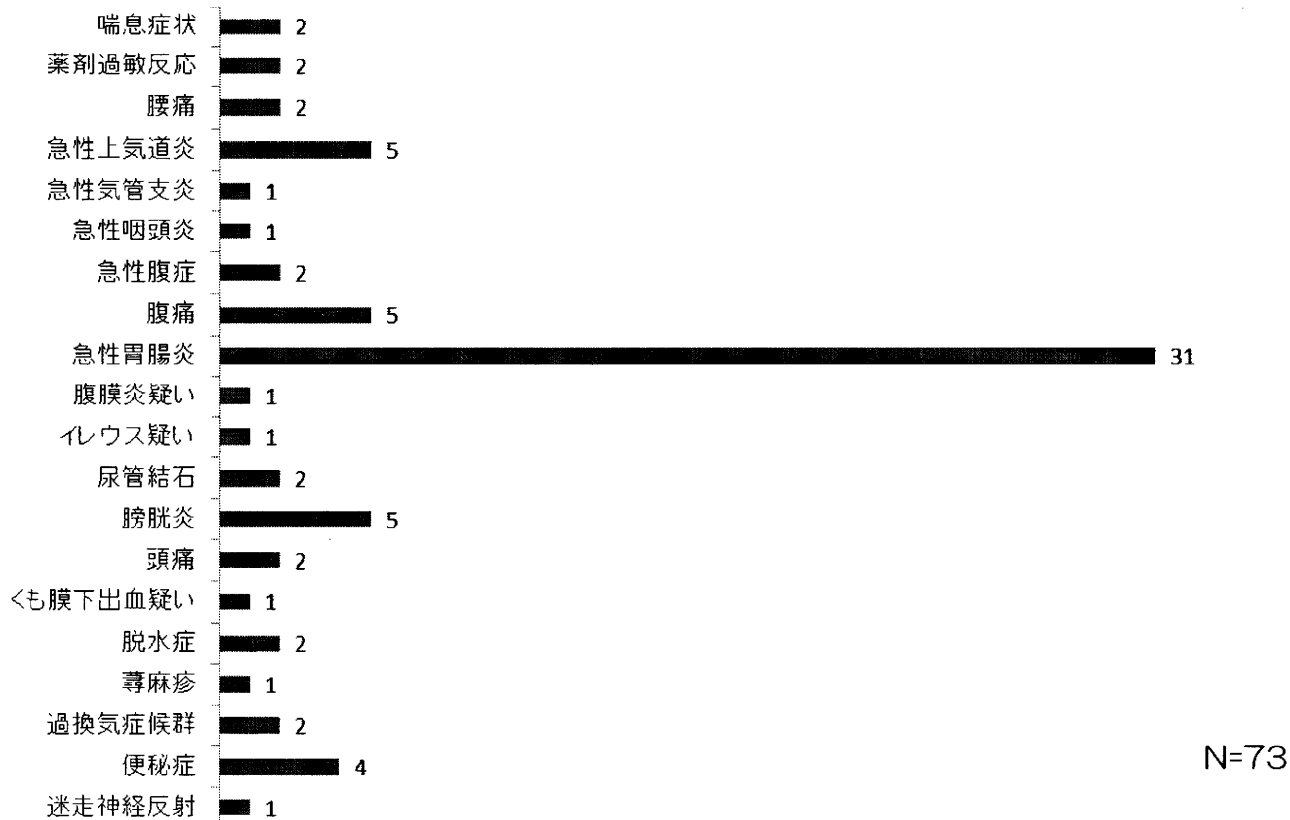
相談者が産婦人科疾患と思い相談電話に連絡してきたが、オペレーターが産婦人科疾患か判断がつかず、夜間急病センターへ受診勧奨し、内科医の診断を受けた結果、産婦人科疾患ではなかった相談件数は68件あり、図14はその詳細である。

図14 札幌市夜間急病センター対応産婦人科以外の疾患

21年度



22年度

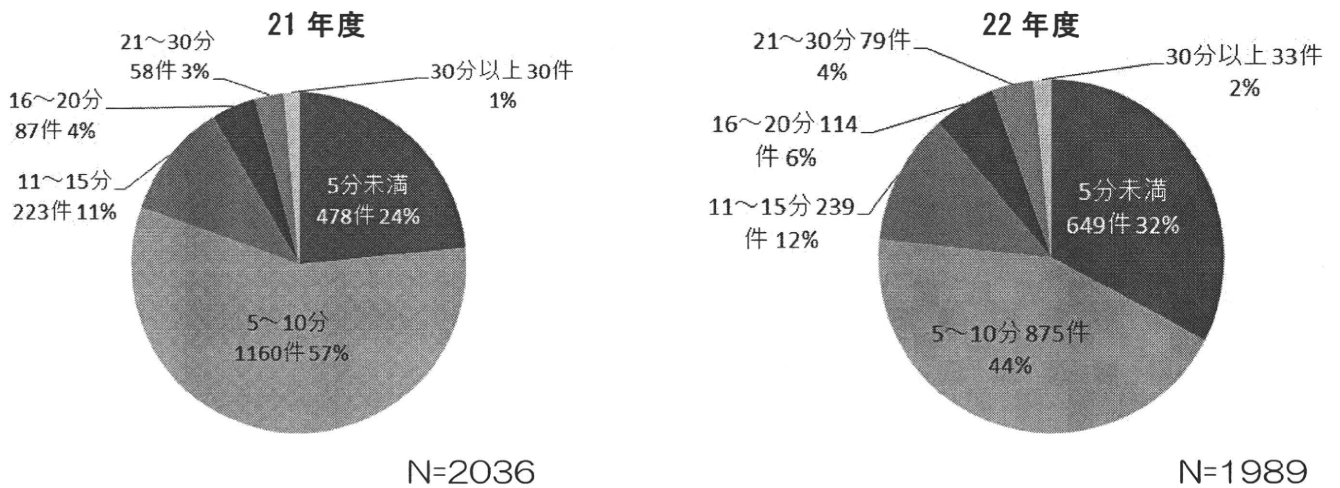


腹痛に関しては、子宮が痛い等の訴えで産婦人科か内科か区別がつかないものは、夜間急病センター内科へ受診を勧奨している。その他、妊婦の内科疾患に関しての対応も依頼している。対応件数のうち 11 件は妊婦であるが、妊娠に関連しない疾患を合併している相談者の対応である。

(14) 相談時間

産婦人科救急相談は、相談者を適切な医療機関にコーディネートすることを目的としているため迅速な対応を求められる。図15のように相談時間の長さは5分未満が649件で32%であり、5～10分以内が875件で44%である。合わせて76%の相談者には10分以内の対応がなされている。

図15 相談時間の長さ

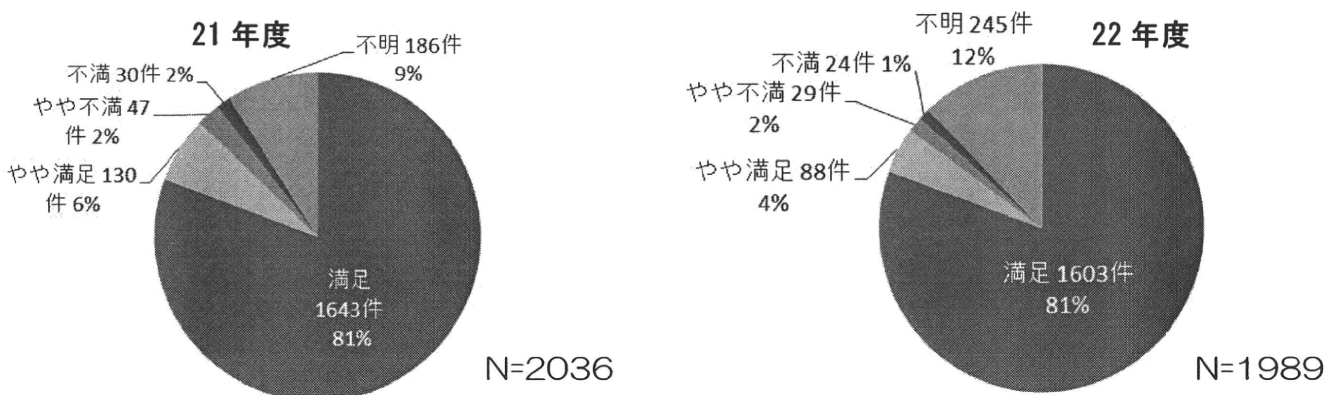


(15) 相談者の満足度

相談者は「満足」が1,603件で81%。「やや満足」が88件で4%であり、合わせて85%の相談者が対応に満足されている。

「不満」・「やや不満」は全体の3%で、主な理由は、「夜間に診療できる産婦人科を案内する機関であると思っていた」と言われることが多く、緊急性がなければ翌日の診療時間内での対応を勧奨していることが、不満の原因となっている。相談者の満足度を高めるためには、この電話相談の趣旨を知ってもらうことが必要と考えられる。

図16 相談者の満足度





## 資料 1 産婦人科救急電話相談対応実績

期間： 平成22年4月1日 から 平成23年3月31日

(保健福祉局保健所医療政策課)

### 1. 相談件数

#### ①相談者の性別

女 性	男 性	不 明	合 計
1717	268	4	1989

#### ②相談経路

電 話	救急隊	センター 来院	警 察	その他	不 明	合 計
1657	126	22	29	141	14	1989

#### ③相談者の年齢

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不 明	合 計
110	509	415	120	36	11	3	7	778	1989

#### ④相談者の所在地

市 内	市 外	不 明	合 計
1341	272	376	1989

### 2. 主な相談内容

相談内容	件 数
腹痛・腹部の異常	490
性器出血	426
妊娠中の発熱・嘔吐など	181
薬の服用	75
生理痛・生理時の異常	88
避妊対応	127
外陰部の痛み・痒み・腫れ	87
強姦	32
その他の婦人科系疾患	73
乳幼児の疾患・異常	12
避妊具・生理用品等の使用法	5
産婦人科等医療機関の紹介依頼	103
その他	271
不明	19
合 計	1989

### 3. 相談対応結果

相談対応結果		件数	
医療機関の 受診を勧奨	かかりつけ医	明朝以降の受診勧奨	138
		早急な電話相談・受診を勧奨	424
	他の医療機関	明朝以降の受診勧奨	405
		早急な電話相談・受診を勧奨	115
	夜間急病センター	来院	113
		来院せず	11
二次救急医療機関を受診	電話相談後に受診を手配	145	
	急病センター来院後に受診を手配	9	
	救急隊の要請で手配	5	
三次救急医療機関を受診		32	
電話相談で終了		469	
その他		121	
不明		2	
合 計		1989	

期間： 平成22年4月1日 から 平成22年4月30日

(保健福祉局保健所医療政策課)

### 1. 相談件数

#### ①相談者の性別

女 性	男 性	不 明	合 計
137	13	1	151

#### ②相談経路

電 話	救急隊	センター 来院	警 察	その他	不 明	合 計
127	10	0	4	10	0	151

#### ③相談者の年齢

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不 明	合 計
12	42	34	9	3	1	0	1	49	151

#### ④相談者の所在地

市 内	市 外	不 明	合 計
106	23	22	151

### 2. 主な相談内容

相談内容	件 数
腹痛・腹部の異常	37
性器出血	42
妊娠中の発熱・嘔吐など	11
薬の服用	2
生理痛・生理時の異常	6
避妊対応	4
外陰部の痛み・痒み・腫れ	5
強姦	4
その他の婦人科系疾患	7
乳幼児の疾患・異常	0
避妊具・生理用品等の使用法	0
産婦人科等医療機関の紹介依頼	7
その他	23
不明	3
合 計	151

### 3. 相談対応結果

相談対応結果		件数	
医療機関の 受診を勧奨	かかりつけ医	明朝以降の受診勧奨	11
		早急な電話相談・受診を勧奨	27
	他の医療機関	明朝以降の受診勧奨	29
		早急な電話相談・受診を勧奨	3
	夜間急病センター	来院	8
		来院せず	1
二次救急医療機関を受診	電話相談後に受診を手配	10	
	急病センター来院後に受診を手配	0	
	救急隊の要請で手配	1	
三次救急医療機関を受診		5	
電話相談で終了		47	
その他		9	
不明		0	
合 計		151	

期間： 平成22年5月1日 から 平成22年5月31日

(保健福祉局保健所医療政策課)

### 1. 相談件数

#### ①相談者の性別

女性	男性	不明	合計
148	26	1	175

#### ②相談経路

電話	救急隊	センター 来院	警察	その他	不明	合計
147	11	2	2	11	2	175

#### ③相談者の年齢

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明	合計
15	38	27	16	0	2	0	0	77	175

#### ④相談者の所在地

市内	市外	不明	合計
112	18	45	175

### 2. 主な相談内容

相談内容	件数
腹痛・腹部の異常	44
性器出血	36
妊娠中の発熱・嘔吐など	15
薬の服用	5
生理痛・生理時の異常	10
避妊対応	8
外陰部の痛み・痒み・腫れ	5
強姦	2
その他の婦人科系疾患	7
乳幼児の疾患・異常	4
避妊具・生理用品等の使用法	0
産婦人科等医療機関の紹介依頼	10
その他	25
不明	4
合計	175

### 3. 相談対応結果

相談対応結果		件数	
医療機関の 受診を勧奨	かかりつけ医	明朝以降の受診勧奨	9
		早急な電話相談・受診を勧奨	38
	他の医療機関	明朝以降の受診勧奨	31
		早急な電話相談・受診を勧奨	6
	夜間急病センター	来院	11
		来院せず	1
二次救急医療機関を受診	電話相談後に受診を手配	14	
	急病センター来院後に受診を手配	0	
	救急隊の要請で手配	1	
三次救急医療機関を受診		3	
電話相談で終了		49	
その他		11	
不明		1	
合計		175	

期間： 平成22年6月1日 から 平成22年6月30日

(保健福祉局保健所医療政策課)

## 1. 相談件数

### ①相談者の性別

女 性	男 性	不 明	合 計
140	28	0	168

### ②相談経路

電 話	救急隊	センター 来院	警 察	その他	不 明	合 計
144	11	3	1	8	1	168

### ③相談者の年齢

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不 明	合 計
7	34	25	6	1	0	0	0	95	168

### ④相談者の所在地

市 内	市 外	不 明	合 計
86	21	61	168

## 2. 主な相談内容

相談内容	件 数
腹痛・腹部の異常	38
性器出血	38
妊娠中の発熱・嘔吐など	13
薬の服用	7
生理痛・生理時の異常	9
避妊対応	6
外陰部の痛み・痒み・腫れ	3
強姦	1
その他の婦人科系疾患	14
乳幼児の疾患・異常	0
避妊具・生理用品等の使用法	0
産婦人科等医療機関の紹介依頼	5
その他	28
不明	6
合 計	168

## 3. 相談対応結果

相談対応結果		件数	
医療機関の 受診を勧奨	かかりつけ医	明朝以降の受診勧奨	10
		早急な電話相談・受診を勧奨	45
	他の医療機関	明朝以降の受診勧奨	29
		早急な電話相談・受診を勧奨	5
	夜間急病センター	来院	6
		来院せず	1
二次救急医療機関を受診	電話相談後に受診を手配	12	
	急病センター来院後に受診を手配	1	
	救急隊の要請で手配	0	
三次救急医療機関を受診		3	
電話相談で終了		45	
その他		10	
不明		1	
合 計		168	

期間： 平成22年7月1日 から 平成22年7月31日

(保健福祉局保健所医療政策課)

## 1. 相談件数

### ①相談者の性別

女性	男性	不明	合計
151	21	1	173

### ②相談経路

電話	救急隊	センター 来院	警察	その他	不明	合計
142	8	0	3	16	4	173

### ③相談者の年齢

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明	合計
14	28	31	6	5	2	0	0	87	173

### ④相談者の所在地

市内	市外	不明	合計
91	25	57	173

## 2. 主な相談内容

相談内容	件数
腹痛・腹部の異常	46
性器出血	35
妊娠中の発熱・嘔吐など	14
薬の服用	7
生理痛・生理時の異常	5
避妊対応	9
外陰部の痛み・痒み・腫れ	7
強姦	4
その他の婦人科系疾患	6
乳幼児の疾患・異常	1
避妊具・生理用品等の使用法	0
産婦人科等医療機関の紹介依頼	4
その他	32
不明	3
合計	173

## 3. 相談対応結果

相談対応結果		件数	
医療機関の 受診を勧奨	かかりつけ医	明朝以降の受診勧奨	16
		早急な電話相談・受診を勧奨	35
	他の医療機関	明朝以降の受診勧奨	40
		早急な電話相談・受診を勧奨	9
	夜間急病センター	来院	6
		来院せず	1
二次救急医療機関を受診	電話相談後に受診を手配	14	
	急病センター来院後に受診を手配	0	
	救急隊の要請で手配	0	
三次救急医療機関を受診		3	
電話相談で終了		29	
その他		20	
不明		0	
合計		173	

期間： 平成22年8月1日 から 平成22年8月31日

(保健福祉局保健所医療政策課)

### 1. 相談件数

#### ①相談者の性別

女性	男性	不明	合計
145	24	0	169

#### ②相談経路

電話	救急隊	センター 来院	警察	その他	不明	合計
143	8	6	2	9	1	169

#### ③相談者の年齢

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明	合計
8	27	39	11	3	2	0	0	79	169

#### ④相談者の所在地

市内	市外	不明	合計
114	24	31	169

### 2. 主な相談内容

相談内容	件数
腹痛・腹部の異常	48
性器出血	33
妊娠中の発熱・嘔吐など	16
薬の服用	3
生理痛・生理時の異常	5
避妊対応	8
外陰部の痛み・痒み・腫れ	6
強姦	3
その他の婦人科系疾患	6
乳幼児の疾患・異常	2
避妊具・生理用品等の使用法	2
産婦人科等医療機関の紹介依頼	10
その他	27
不明	0
合計	169

### 3. 相談対応結果

相談対応結果		件数	
医療機関の 受診を勧奨	かかりつけ医	明朝以降の受診勧奨	11
		早急な電話相談・受診を勧奨	40
	他の医療機関	明朝以降の受診勧奨	30
		早急な電話相談・受診を勧奨	9
	夜間急病センター	来院	9
		来院せず	4
二次救急医療機関を受診	電話相談後に受診を手配	10	
	急病センター来院後に受診を手配	2	
	救急隊の要請で手配	0	
三次救急医療機関を受診		5	
電話相談で終了		37	
その他		12	
不明		0	
合計		169	

期間： 平成22年9月1日 から 平成22年9月30日

(保健福祉局保健所医療政策課)

## 1. 相談件数

### ①相談者の性別

女性	男性	不明	合計
176	20	0	196

### ②相談経路

電話	救急隊	センター 来院	警察	その他	不明	合計
162	8	4	7	15	0	196

### ③相談者の年齢

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明	合計
9	61	38	14	6	1	1	0	66	196

### ④相談者の所在地

市内	市外	不明	合計
133	23	40	196

## 2. 主な相談内容

相談内容	件数
腹痛・腹部の異常	55
性器出血	40
妊娠中の発熱・嘔吐など	20
薬の服用	8
生理痛・生理時の異常	5
避妊対応	8
外陰部の痛み・痒み・腫れ	7
強姦	6
その他の婦人科系疾患	5
乳幼児の疾患・異常	0
避妊具・生理用品等の使用法	0
産婦人科等医療機関の紹介依頼	21
その他	20
不明	1
合計	196

## 3. 相談対応結果

相談対応結果		件数	
医療機関の 受診を勧奨	かかりつけ医	明朝以降の受診勧奨	16
		早急な電話相談・受診を勧奨	39
	他の医療機関	明朝以降の受診勧奨	42
		早急な電話相談・受診を勧奨	10
	夜間急病センター	来院	9
		来院せず	2
二次救急医療機関を受診	電話相談後に受診を手配	22	
	急病センター来院後に受診を手配	2	
	救急隊の要請で手配	1	
三次救急医療機関を受診		4	
電話相談で終了		41	
その他		7	
不明		1	
合計		196	

期間： 平成22年10月1日 から 平成22年10月31日

(保健福祉局保健所医療政策課)

## 1. 相談件数

### ①相談者の性別

女性	男性	不明	合計
131	28	0	159

### ②相談経路

電話	救急隊	センター 来院	警察	その他	不明	合計
126	12	2	5	14	0	159

### ③相談者の年齢

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明	合計
5	46	40	9	3	0	0	0	56	159

### ④相談者の所在地

市内	市外	不明	合計
112	19	28	159

## 2. 主な相談内容

相談内容	件数
腹痛・腹部の異常	39
性器出血	29
妊娠中の発熱・嘔吐など	15
薬の服用	5
生理痛・生理時の異常	5
避妊対応	16
外陰部の痛み・痒み・腫れ	5
強姦	7
その他の婦人科系疾患	4
乳幼児の疾患・異常	1
避妊具・生理用品等の使用法	0
産婦人科等医療機関の紹介依頼	7
その他	26
不明	0
合計	159

## 3. 相談対応結果

相談対応結果		件数	
医療機関の 受診を勧奨	かかりつけ医	明朝以降の受診勧奨	8
		早急な電話相談・受診を勧奨	32
	他の医療機関	明朝以降の受診勧奨	23
		早急な電話相談・受診を勧奨	10
夜間急病センター	来院	12	
	来院せず	0	
二次救急医療機関を受診	電話相談後に受診を手配	12	
	急病センター来院後に受診を手配	3	
	救急隊の要請で手配	1	
三次救急医療機関を受診		4	
電話相談で終了		46	
その他		8	
不明		0	
合計		159	



期間： 平成22年11月1日 から 平成22年11月30日

(保健福祉局保健所医療政策課)

### 1. 相談件数

#### ①相談者の性別

女性	男性	不明	合計
151	22	0	173

#### ②相談経路

電話	救急隊	センター 来院	警察	その他	不明	合計
138	12	2	2	18	1	173

#### ③相談者の年齢

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明	合計
16	44	45	9	5	0	0	1	53	173

#### ④相談者の所在地

市内	市外	不明	合計
121	30	22	173

### 2. 主な相談内容

相談内容	件数
腹痛・腹部の異常	39
性器出血	34
妊娠中の発熱・嘔吐など	23
薬の服用	8
生理痛・生理時の異常	9
避妊対応	9
外陰部の痛み・痒み・腫れ	15
強姦	1
その他の婦人科系疾患	7
乳幼児の疾患・異常	1
避妊具・生理用品等の使用法	0
産婦人科等医療機関の紹介依頼	11
その他	16
不明	0
合計	173

### 3. 相談対応結果

相談対応結果		件数	
医療機関の 受診を勧奨	かかりつけ医	明朝以降の受診勧奨	8
		早急な電話相談・受診を勧奨	37
	他の医療機関	明朝以降の受診勧奨	32
		早急な電話相談・受診を勧奨	15
	夜間急病センター	来院	9
		来院せず	1
二次救急医療機関を受診	電話相談後に受診を手配	15	
	急病センター来院後に受診を手配	0	
	救急隊の要請で手配	0	
三次救急医療機関を受診		0	
電話相談で終了		44	
その他		12	
不明		0	
合計		173	

期間： 平成22年12月1日 から 平成22年12月31日

(保健福祉局保健所医療政策課)

### 1. 相談件数

#### ①相談者の性別

女性	男性	不明	合計
156	19	0	175

#### ②相談経路

電話	救急隊	センター 来院	警察	その他	不明	合計
154	9	0	2	10	0	175

#### ③相談者の年齢

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明	合計
3	34	40	15	6	1	0	2	74	175

#### ④相談者の所在地

市内	市外	不明	合計
128	24	23	175

### 2. 主な相談内容

相談内容	件数
腹痛・腹部の異常	34
性器出血	47
妊娠中の発熱・嘔吐など	14
薬の服用	14
生理痛・生理時の異常	10
避妊対応	10
外陰部の痛み・痒み・腫れ	13
強姦	1
その他の婦人科系疾患	6
乳幼児の疾患・異常	1
避妊具・生理用品等の使用法	0
産婦人科等医療機関の紹介依頼	9
その他	15
不明	1
合計	175

### 3. 相談対応結果

相談対応結果		件数	
医療機関の 受診を勧奨	かかりつけ医	明朝以降の受診勧奨	8
		早急な電話相談・受診を勧奨	41
	他の医療機関	明朝以降の受診勧奨	46
		早急な電話相談・受診を勧奨	12
	夜間急病センター	来院	10
		来院せず	0
二次救急医療機関を受診	電話相談後に受診を手配	10	
	急病センター来院後に受診を手配	0	
	救急隊の要請で手配	0	
三次救急医療機関を受診		2	
電話相談で終了		36	
その他		10	
不明		0	
合計		175	

期間： 平成23年1月1日 から 平成23年1月31日

(保健福祉局保健所医療政策課)

### 1. 相談件数

#### ①相談者の性別

女性	男性	不明	合計
143	29	1	173

#### ②相談経路

電話	救急隊	センター 来院	警察	その他	不明	合計
144	13	2	0	9	5	173

#### ③相談者の年齢

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明	合計
7	62	33	10	0	1	2	1	57	173

#### ④相談者の所在地

市内	市外	不明	合計
132	19	22	173

### 2. 主な相談内容

相談内容	件数
腹痛・腹部の異常	26
性器出血	32
妊娠中の発熱・嘔吐など	22
薬の服用	10
生理痛・生理時の異常	13
避妊対応	16
外陰部の痛み・痒み・腫れ	8
強姦	1
その他の婦人科系疾患	5
乳幼児の疾患・異常	1
避妊具・生理用品等の使用法	1
産婦人科等医療機関の紹介依頼	8
その他	30
不明	0
合計	173

### 3. 相談対応結果

相談対応結果		件数	
医療機関の 受診を勧奨	かかりつけ医	明朝以降の受診勧奨	17
		早急な電話相談・受診を勧奨	37
	他の医療機関	明朝以降の受診勧奨	42
		早急な電話相談・受診を勧奨	9
	夜間急病センター	来院	13
		来院せず	0
二次救急医療機関を受診	電話相談後に受診を手配	6	
	急病センター来院後に受診を手配	1	
	救急隊の要請で手配	0	
三次救急医療機関を受診		1	
電話相談で終了		37	
その他		10	
不明		0	
合計		173	

期間： 平成23年2月1日 から 平成23年2月28日

(保健福祉局保健所医療政策課)

### 1. 相談件数

#### ①相談者の性別

女性	男性	不明	合計
126	19	0	145

#### ②相談経路

電話	救急隊	センター 来院	警察	その他	不明	合計
122	14	0	1	8	0	145

#### ③相談者の年齢

20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明	合計
6	58	34	7	2	0	0	1	37	145

#### ④相談者の所在地

市内	市外	不明	合計
111	22	12	145

### 2. 主な相談内容

相談内容	件数
腹痛・腹部の異常	39
性器出血	33
妊娠中の発熱・嘔吐など	14
薬の服用	1
生理痛・生理時の異常	4
避妊対応	15
外陰部の痛み・痒み・腫れ	10
強姦	2
その他の婦人科系疾患	5
乳幼児の疾患・異常	1
避妊具・生理用品等の使用法	2
産婦人科等医療機関の紹介依頼	3
その他	16
不明	0
合計	145

### 3. 相談対応結果

相談対応結果		件数	
医療機関の 受診を勧奨	かかりつけ医	明朝以降の受診勧奨	9
		早急な電話相談・受診を勧奨	25
	他の医療機関	明朝以降の受診勧奨	34
		早急な電話相談・受診を勧奨	20
	夜間急病センター	来院	10
		来院せず	0
二次救急医療機関を受診	電話相談後に受診を手配	13	
	急病センター来院後に受診を手配	0	
	救急隊の要請で手配	0	
三次救急医療機関を受診		1	
電話相談で終了		28	
その他		5	
不明		0	
合計		145	